

令和3年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	令和元年東日本台風災害2年シンポジウム	事業経緯	新規	実施体制	協賛	担当所属	長野支所
事業名 (大項目)	地域の利用・整備・保全に関する広報事業	分類名 (中項目)	広報・啓発活動支援事業		事業区分	講座、セミナー、育成	

1. 事業目的

千曲川流域に甚大な被害をもたらした令和元年東日本台風災害から2年。災害復旧事業が進み着実に復興が図られている。この機会に復旧・復興の状況を共有し、新たな水災害対策「流域治水」を学び、地域防災を考え理解を深める場とするものである。

2. 事業実施体制

主催：国土交通省千曲川河川事務所、長野県
 共催：国土交通省松本砂防事務所・大町ダム管理所、信濃毎日新聞社
 協賛：(一社)北陸地域づくり協会、長野県河川協会
 後援：信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会、信州大学地域防災減災センター、長野県市長会・町村会、(一社)長野県建設業協会

3. 事業実施概要

日時：令和3年10月22日(金) 14:00～16:30
 場所：長野市芸術館 リサیتالホール
 プログラム：「災害復旧・復興」と「流域治水」
 ・基調講演「過去の水害から学ぶ流域治水のあり方」
 吉谷 純一(信州大学工学部 水環境・土木工学科 教授)
 ・話題提供
 「東日本台風災害の復旧と信濃川緊急治水対策プロジェクトについて」
 谷口 和哉(千曲川河川事務所 副所長)
 「災害復旧の状況と流域治水の取り組みについて」
 小松 誠司(長野県建設部 河川課長)
 ・パネルディスカッション「大災害での経験を流域治水に活かすために」
 パネリスト：
 吉谷 純一(基調講演講師)、加藤 久雄(長野市長)、足立 正則(飯山市長)、
 石井 布紀子(NPO法人さくらネット代表理事)、齋藤 充(千曲川河川事務所長)、
 田下 昌志(長野県建設部長)
 コーディネーター：増田 正昭(信濃毎日新聞社編集委員)
 参加者数：約100名
 * YouTubeで同時配信

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

令和元年東日本台風災害では、信濃川水系の千曲川上流から信濃川中流域の広域にわたって甚大な被害が発生した。災害発生から2周年という節目に、復旧・復興の状況を共有し、新たな水害対策「流域治水」の役割・効果等への認識を促す機会となった。動画配信の併用で広く県民一人ひとりが、将来も見据えながら今後の暮らしの安全や活性化を考える場となった。



開会挨拶(長野県知事)/閉会挨拶(千曲川河川事務所長)



← 基調講演
↓ パネルディスカッション

